

証明書発行マニュアル  
(Export 可能)

《Windows 10、InternetExplorer》

2018 年 3 月 14 日

セコムトラストシステムズ株式会社

---

改版履歴			
版数	日付	内容	担当
V.1.00	2015/11/19	新規作成	STS
V.1.10	2016/6/1	画像修正	STS
V.1.20	2016/9/15	画像追加(Windows10 Anniversary の記載)	STS
V.1.30	2017/11/21	文言修正 手順追加(信頼済みサイトの登録)	STS
V.1.40	2018/3/14	文言と画面の修正	STS

目次

1. はじめに.....	1
2. 証明書の発行(ダウンロード)手順.....	2
3. 証明書のエクスポート(バックアップ作成).....	18
4. バックアップ証明書のインポート(インストール).....	24
付録 A. ルート証明書無しでの証明書の発行(ダウンロード)手順 .....	31
付録 B. ブラウザの設定.....	38

## 1. はじめに

本マニュアルは、弊社認証サービスにおける、証明書の発行操作を行うお客様向けの操作マニュアルになります。尚、本マニュアルの操作手順は Microsoft Windows 10 Pro の Internet Explorer 11(以下 IE11)をもとに作成しております。

対応 OS、ブラウザ:

OS	Windows 10 Home Windows 10 Pro Windows 10 Enterprise Windows 10 Education
ブラウザ	Internet Explorer 11 ※Microsoft Edge につきまして証明書発行サイトはご利用できません。

## 2. 証明書の発行(ダウンロード)手順

証明書の発行操作について記載します。なお、証明書を発行するには認証情報パスワードが必要になります。

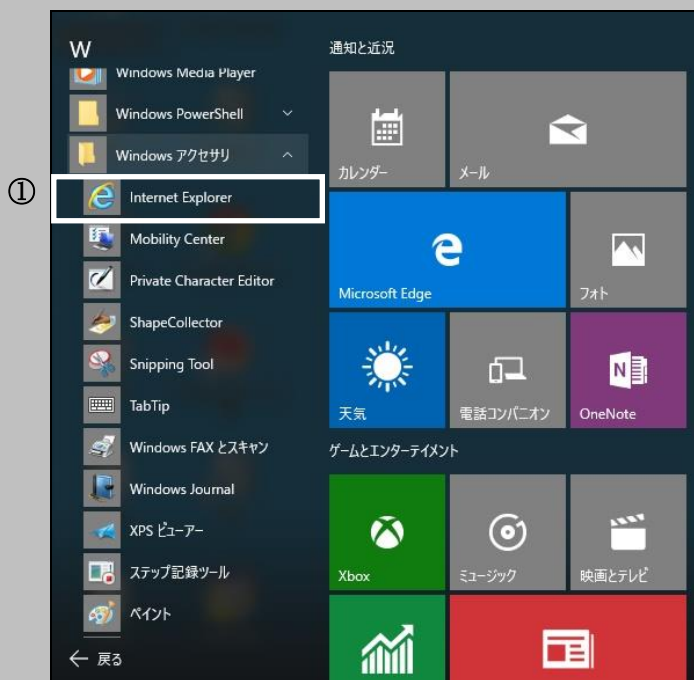
※ 認証情報パスワードは、証明書をご利用になるサービスの提供元にご確認ください。

Windows10 の初期設定では、既定のブラウザが Microsoft Edge になっています。

メール本文の URL(ハイパーリンク)をクリックし、「**未対応のブラウザです**」と表示されてしまう場合は、Microsoft Edge でアクセスしている可能性がございます。その場合は、次に記載する手順を実施して IE11 を起動します。

※ Microsoft Edge では証明書発行サイトはご利用できません。お手数ですが Windows10 では下記の方法にて IE11 を起動し、証明書発行サイトへアクセスしてください。

- ① 「スタートメニュー」-「すべてのアプリ」-「Windows アクセサリ」-「Internet Explorer」をクリックすることにより、IE11 を起動します。



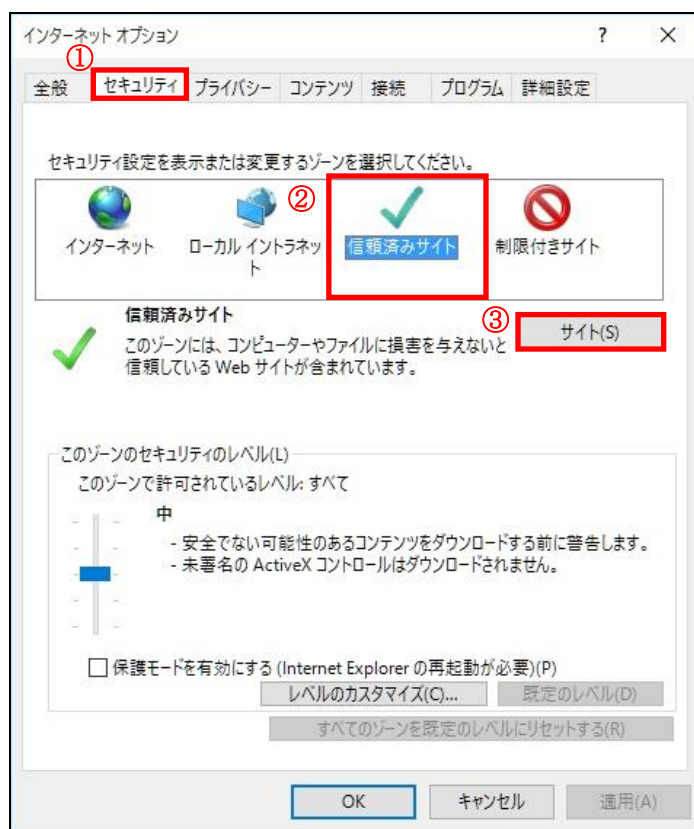
- ② IE11 を起動後、お客様宛てに通知された証明書発行サイトの URL 通知メールより、URL をコピーした後、アドレスバーに証明書発行サイトの URL を入力し、証明書発行サイトへアクセスします。

(1) IE11 を起動します。

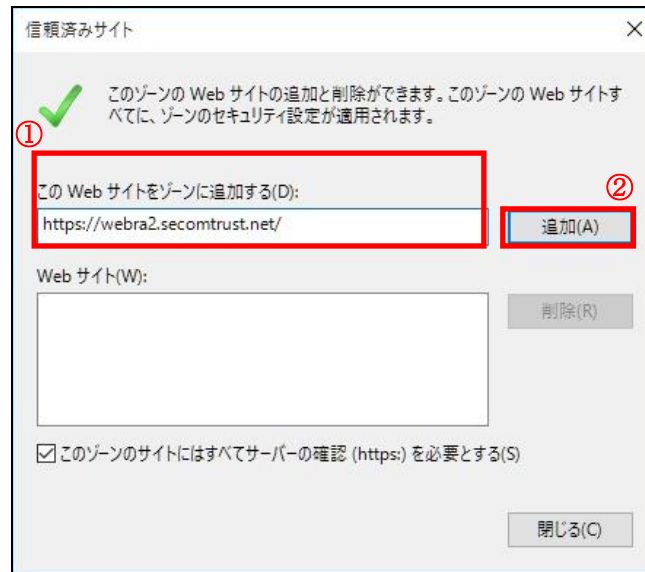
(2) ① ツールメニューより、② インターネットオプション(O) を選択します。



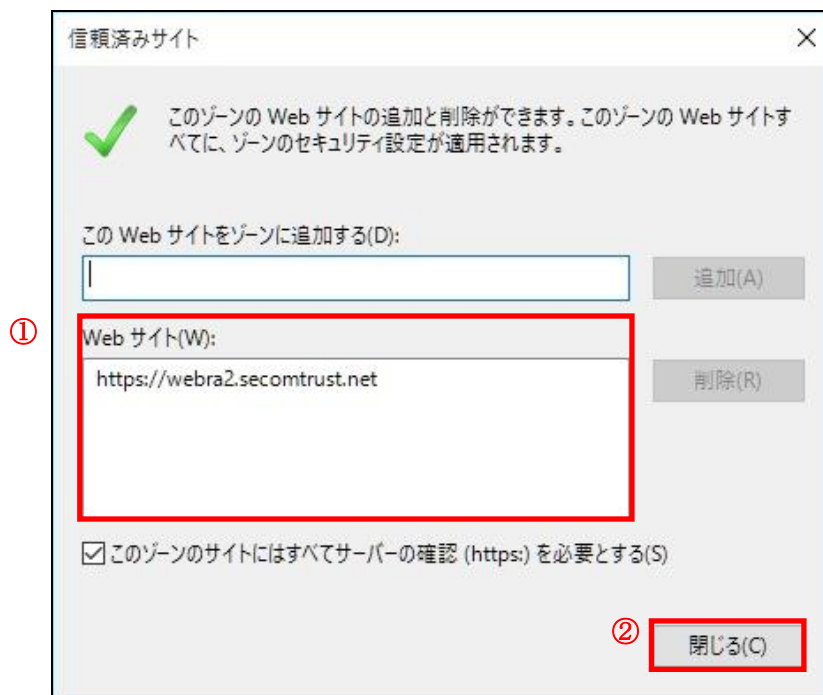
(3) ① セキュリティのタブを選択し、② 信頼済みサイトを選択、③ サイト(S) ボタンをクリックし、「信頼済みサイト」画面を表示します。



- (4) ①この Web サイトをゾーンに追加する(D):に「<https://webra2.secomtrust.net>」を入力し、  
②追加(A)ボタンをクリックします。



- (5) ①Web サイト(W):に「<https://webra2.secomtrust.net>」が表示されることを確認します。  
確認した後、②閉じる(C)ボタンをクリックします。



- (6) インターネットオプションを終了します。

- (7) 証明書を発行するお客様宛に証明書発行サイトの URL がメールで通知されます。

(メール通知文の例)

sts-testuser01 様

電子証明書の発行登録を受けましたので、  
証明書発行サイトの URL をお知らせ致します。

以下の URL へアクセスし、電子証明書の発行を行ってください。  
<https://証明書発行サイト ワンタイム URL>

- URL は大切な情報です。他人に情報が漏れないよう十分ご注意ください。
- 証明書発行に関するご質問は、管理者様宛にお願いいたします。

※本メールは自動送信されています。返信なされませんよう、宜しくお願いいたします。

- (8) [証明書発行サイトの URL](#) にアクセスすると、次の画面が表示されます。

証明書発行サイト画面【ステップ 1】より、① [認証情報パスワード](#) を入力し、② [次へ](#) ボタンをクリックします。

証明書発行サイト

Japanese English

証明書発行は次の手順で行います。  
【STEP1】認証情報/パスワードを入力  
【STEP2】CSPとKey長を選択  
【STEP3】証明書を受け取る  
【STEP4】証明書の確認

【STEP1】認証情報/パスワードを入力

① 認証情報/パスワード(半角英数字):

② [次へ](#)

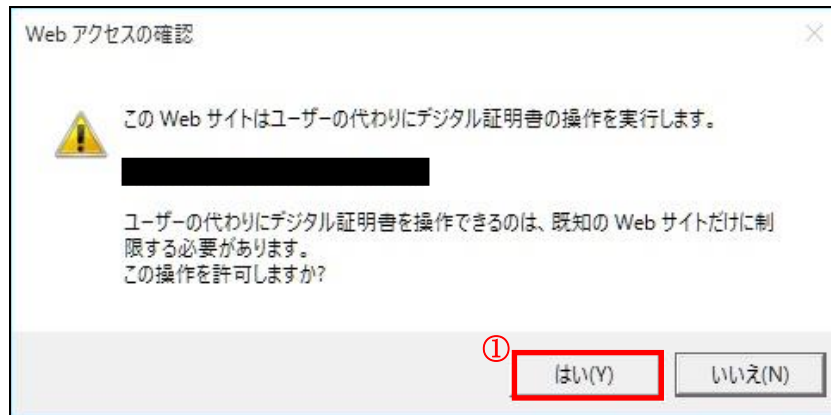
English をクリックすると英語版の画面に切り替わります。

以下のような画面が下部に表示される場合は、① [許可\(A\)](#) ボタンをクリックします。

この Web サイトは、'Microsoft Corporation' からの '証明書の登録コントロール' アドオンを実行しようとしています。 [危険性の説明\(W\)](#) [許可\(A\)](#)



- (9) Web アクセスの確認ダイアログが出力されますので、①「はい(Y)」ボタンをクリックします。



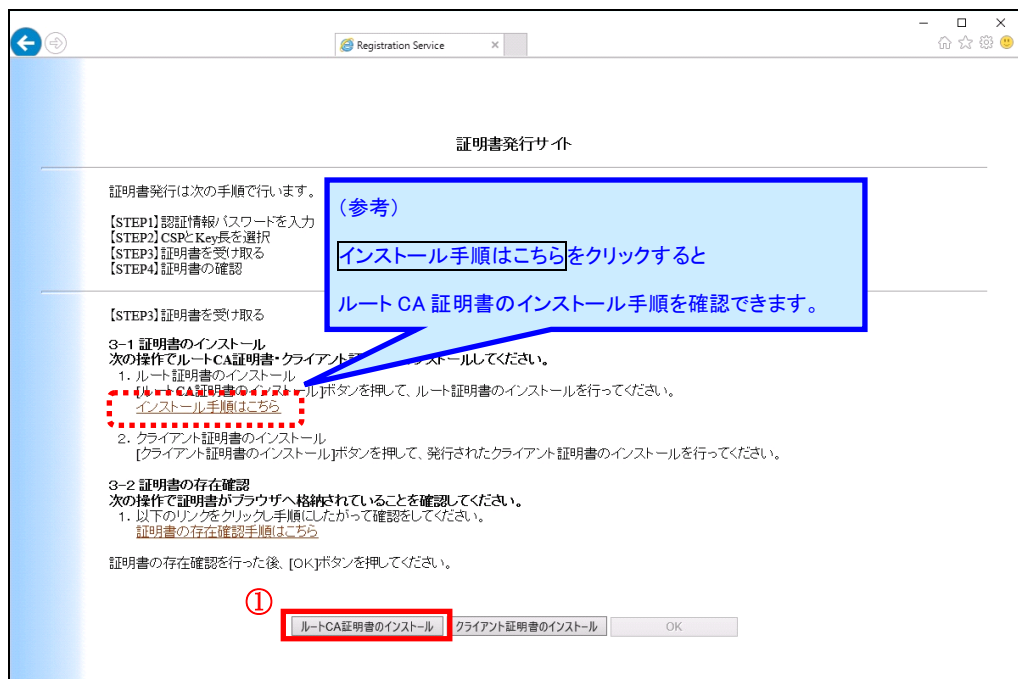
- (10) 証明書発行サイト画面【ステップ 2】より、①「CSP 及び Key 長」を確認し、②「発行」ボタンをクリックします。



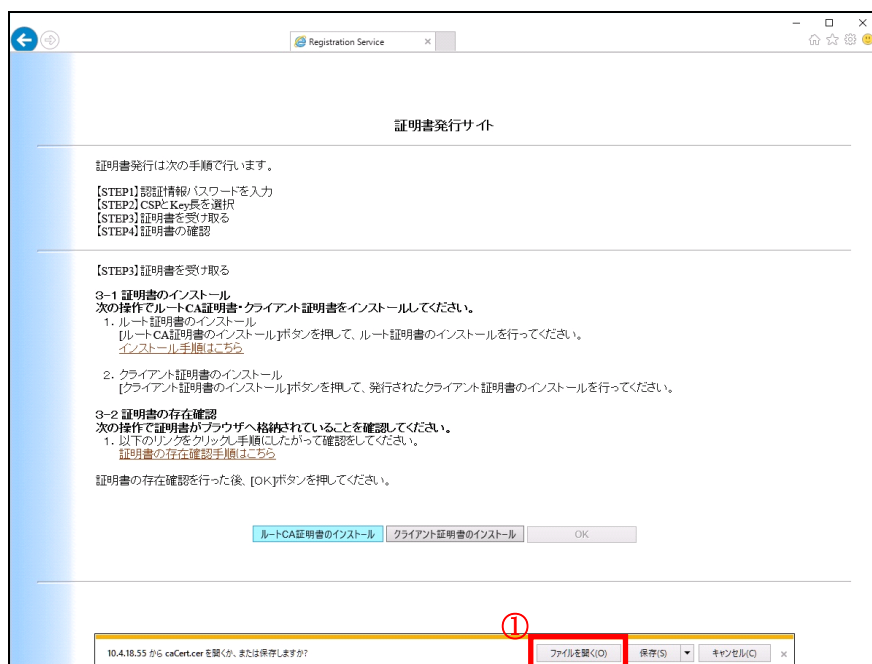
(11) 証明書発行サイト画面【ステップ 3】では、はじめにルート CA 証明書をインストールするため、

① **ルート CA 証明書のインストール** ボタンをクリックします。

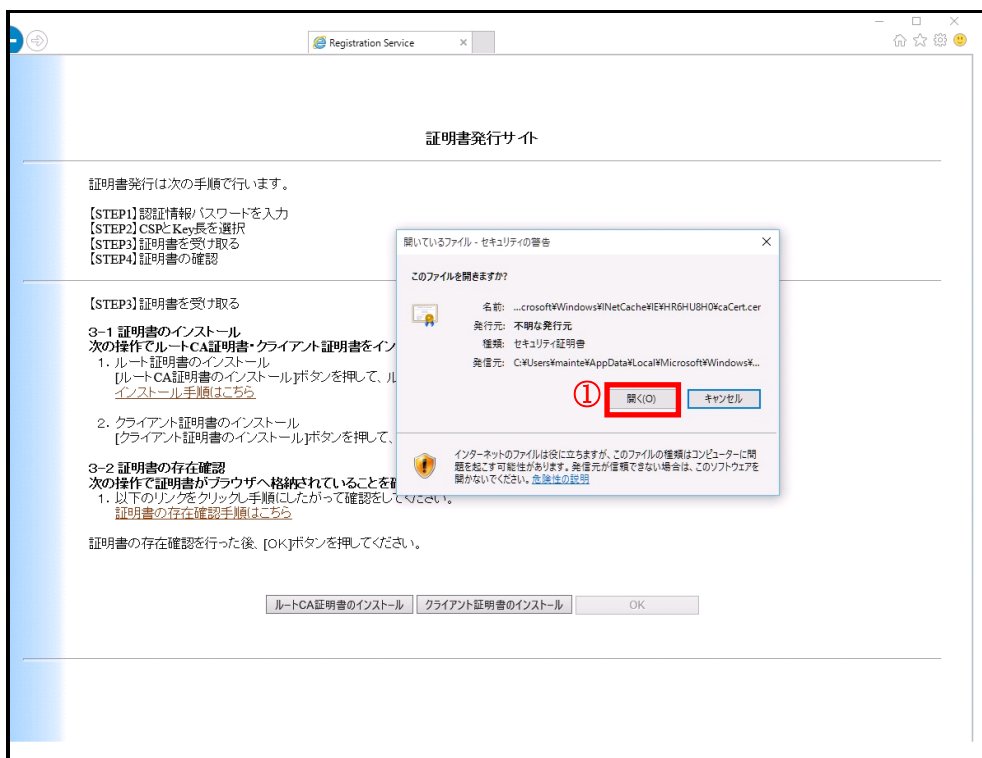
※ **ルート CA 証明書をインストールできない環境**でご使用される場合は、本マニュアル「付録 A. ルート証明書無しでの証明書の発行(ダウンロード)手順」をご確認ください。



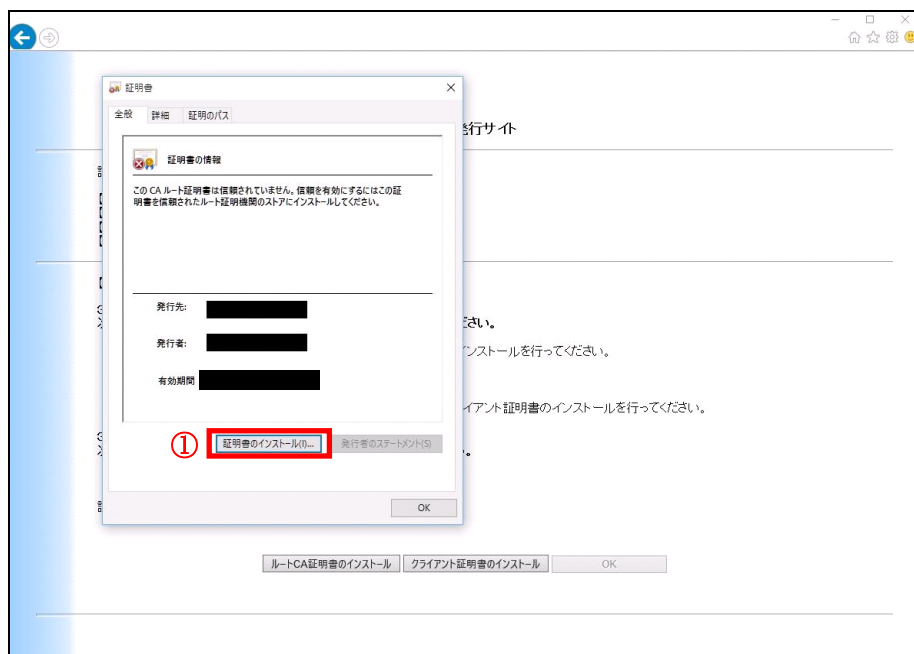
(12) 次のダイアログが出力されたら、① **ファイルを開く(O)** ボタンをクリックします。



(13) 次のダイアログが出力されたら、①開く(O)ボタンをクリックします。



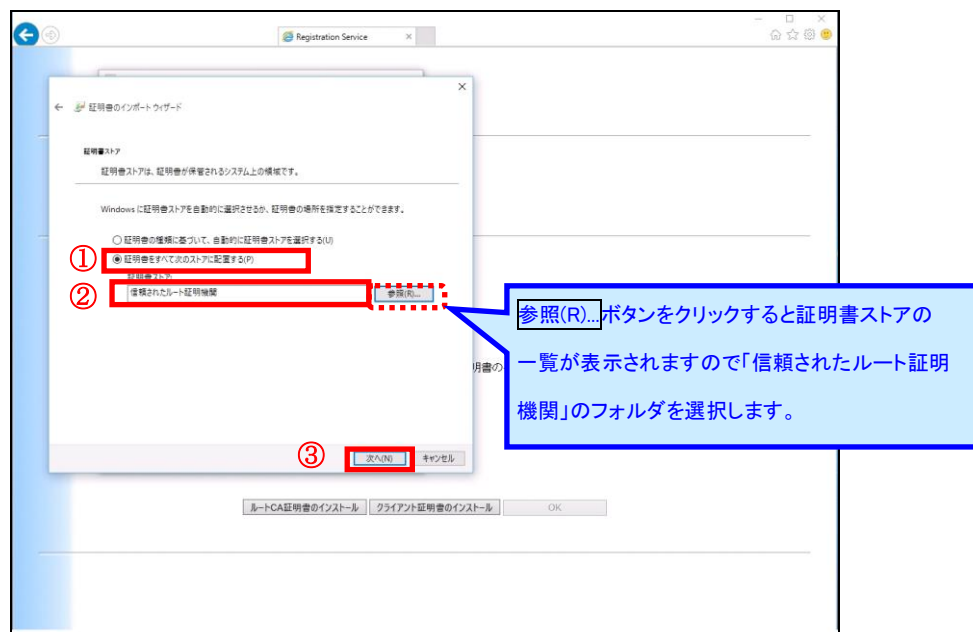
(14) ルート CA 証明書が表示されますので、①証明書のインストール(I)...ボタンをクリックします。



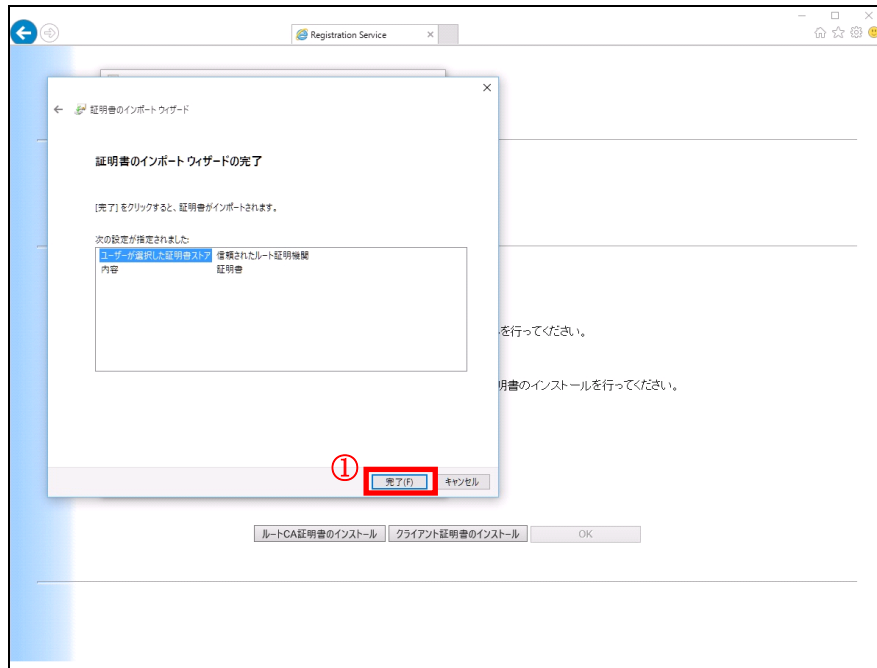
- (15) 証明書のインポートウィザードの開始画面が表示されますので、①現在のユーザ(C)を選択して、②次へ(N)ボタンをクリックします。



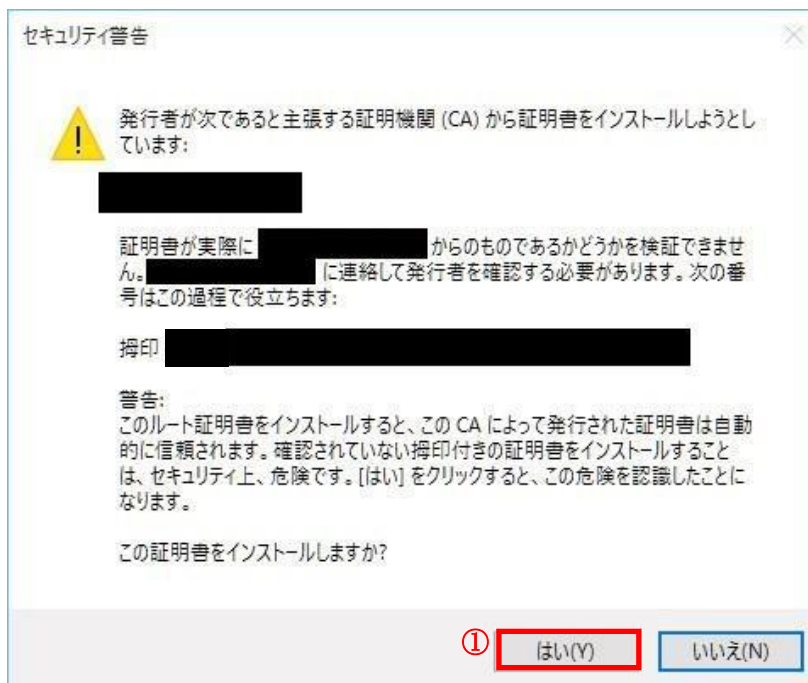
- (16) ①証明書をすべて次のストアに配置する(P)をチェックし、②証明書ストアが「信頼されたルート証明機関」になっていることを確認します。その後、③次へ(N)ボタンをクリックします。



- (17) 証明書のインポートウィザードの完了画面が表示されますので、①完了(E)ボタンをクリックします。

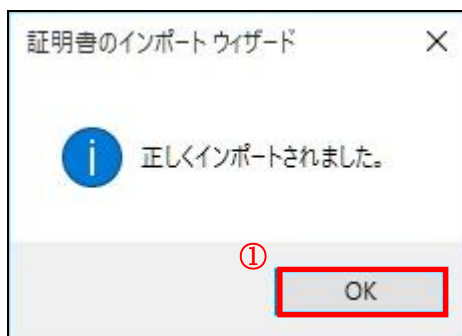


- (18) ルート CA 証明書インストール時の確認画面が表示されますので、①はい(Y)ボタンをクリックします。



※空白の欄には、該当の証明書の発行者の発行者名(CA 名称)等が表示されています。

(19) ①OKボタンをクリックします。



(20) ①OKボタンをクリックします。



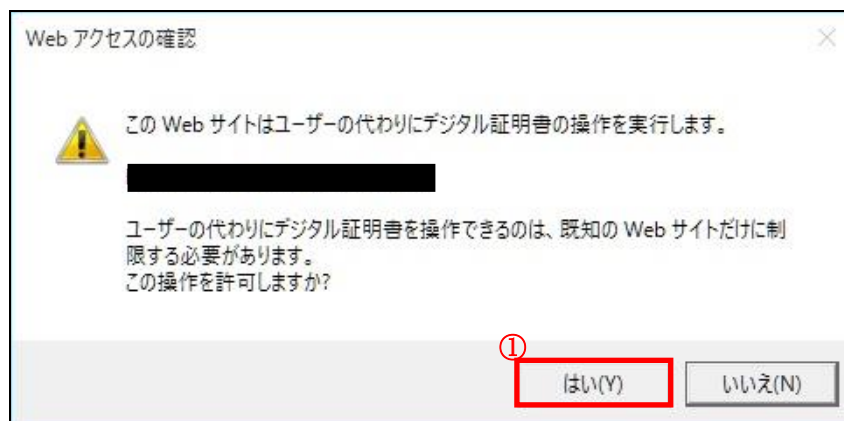
以上で、ルート CA 証明書のインストール(インポート)が完了しました。

次に、クライアント証明書のインストールを行います。

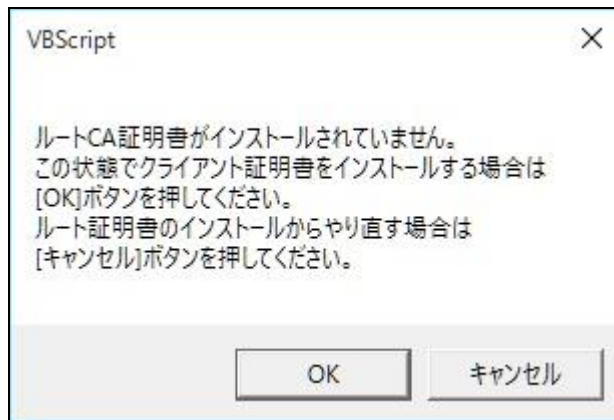
(21) ① **クライアント証明書のインストール** ボタンをクリックします。



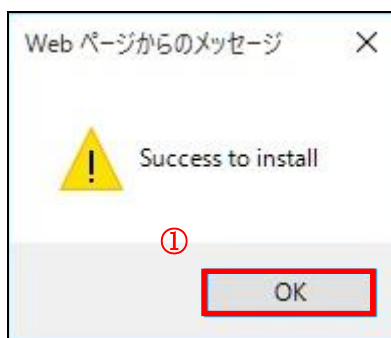
(22) Web アクセスの確認ダイアログが出力されますので、① **はい(Y)** ボタンをクリックします。



- ※ 以下のダイアログが表示される場合は、何らかの理由により、ルート CA 証明書がインストールされていない可能性があります。お客様内のシステム管理者にブラウザの設定をご確認ください。
- 企業ポリシー等で、ルート証明書のインストールが禁止されている場合は、本マニュアル「付録 A. ルート証明書無しでの証明書の発行(ダウンロード)手順」の(3)をご確認ください。



- (23) クライアント証明書のインストールが完了すると、次のダイアログが出力されます。
- ① **OK** ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。



以上でクライアント証明書のインストール手続きは完了となります。



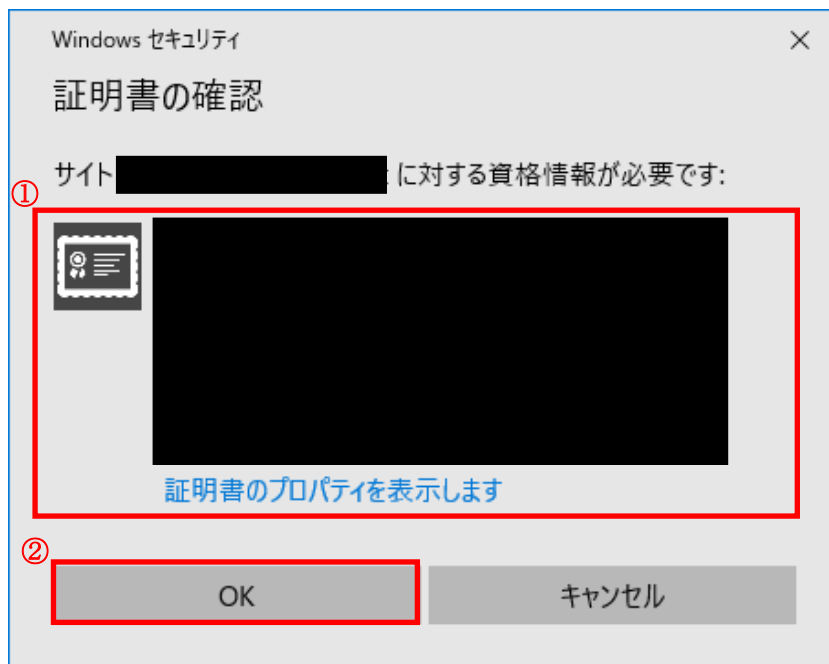
(24) ①OKボタンをクリックします。



(25) 証明書発行サイト画面【ステップ 4】より、①証明書確認ページ URL をクリックし、  
証明書が利用できることを確認します。

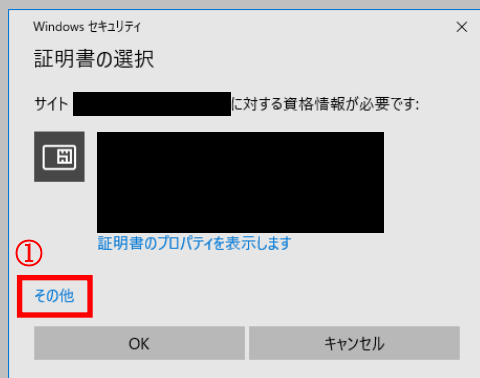


- (26) Windows セキュリティの選択ダイアログより、①本人の証明書を選択し、  
②OK ボタンをクリックします。



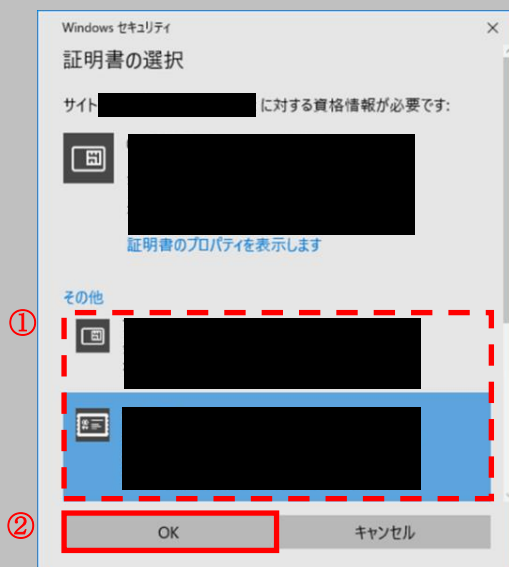
複数の証明書をインストールされている場合は、下記手順をご確認ください。

- ① 「証明書の選択」画面に該当の証明書が表示されていない場合、①「その他」をクリックします。



※アクセスしたサイトで許可されている証明書が「証明書の選択」画面に表示され、有効期間開始日が最新の証明書の証明書が1枚のみ表示されます。

- ② 証明書一覧が表示されますので、①「該当の証明書」を選択し、②「OK」ボタンをクリックします。



(27) 以下の画面が表示されれば、証明書が正しくインストールされ、証明書を利用できる状態です。



ブラウザを閉じて処理を終了します。

以上で、証明書の発行(ダウンロード)は完了しました。

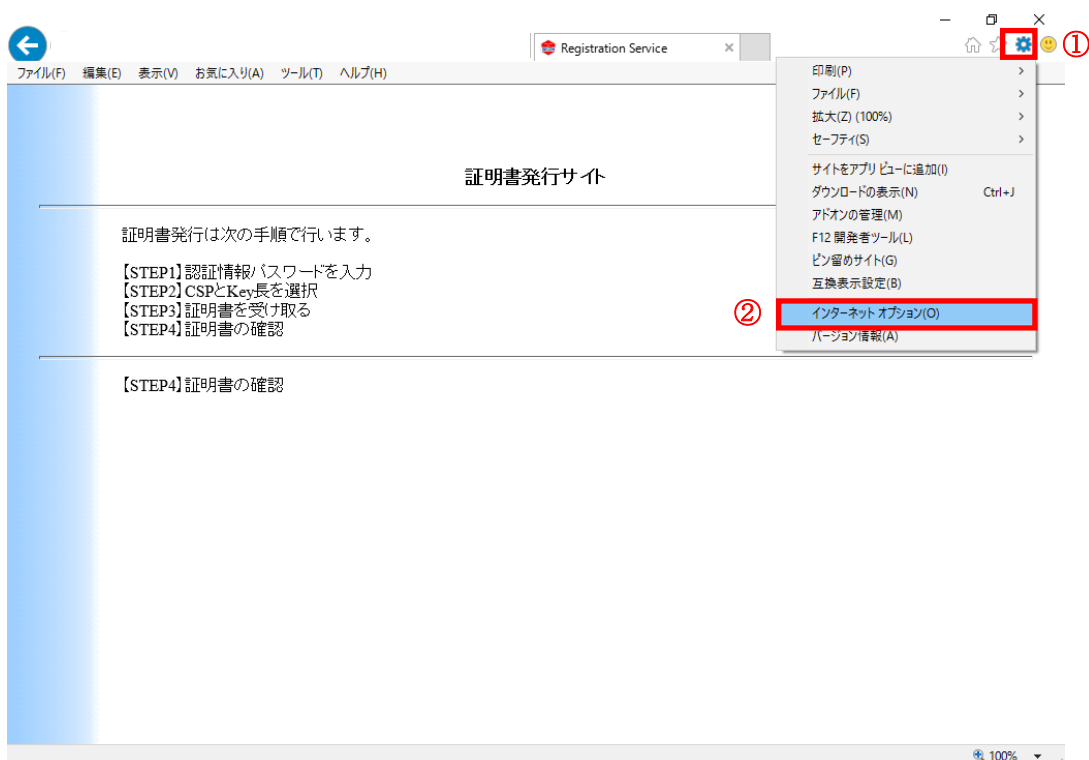
インストールした証明書のバックアップを行う場合は、次の「3. 証明書のエクスポート(バックアップ作成)」をご確認ください。

### 3. 証明書のエクスポート(バックアップ作成)

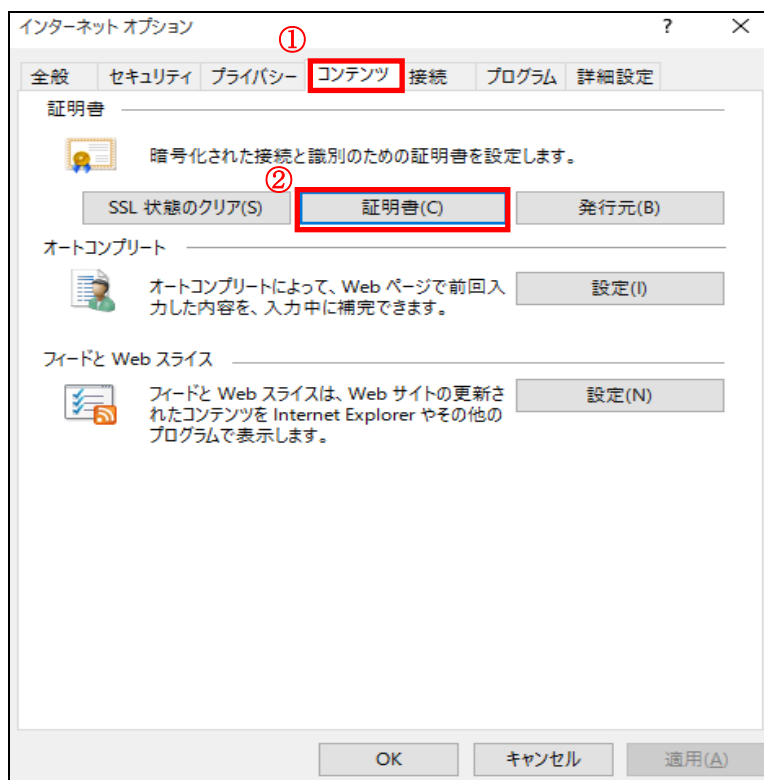
証明書のエクスポート(バックアップ作成)操作について記載します。

※エクスポートとは、バックアップの意味です。

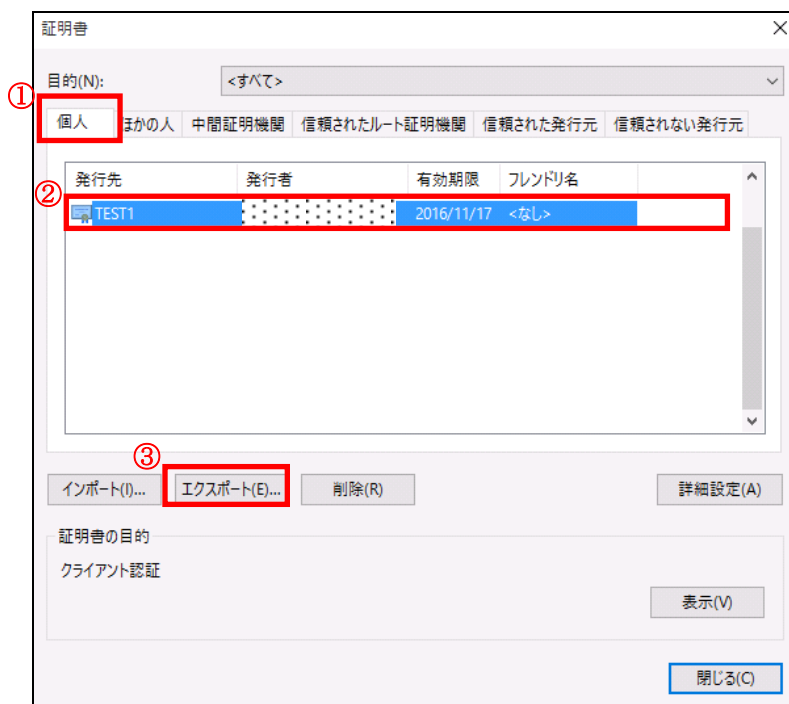
- (1) ① **ツール**メニューより、② **インターネットオプション(O)**を選択します。



- (2) ① **コンテンツ**のタブを選択し、② **証明書(C)**ボタンをクリックします。



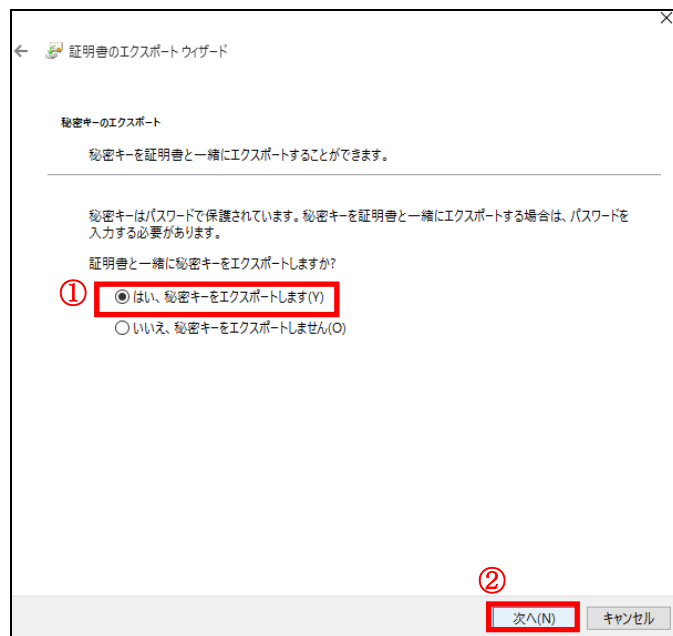
- (3) ① **個人**のタブを選択し、② **インストールした本人の証明書**を選択し、③ **エクスポート(E)...**ボタンをクリックします。



- (4) 証明書のエクスポートウィザードが開始されますので、① **次へ(N)** ボタンをクリックします。



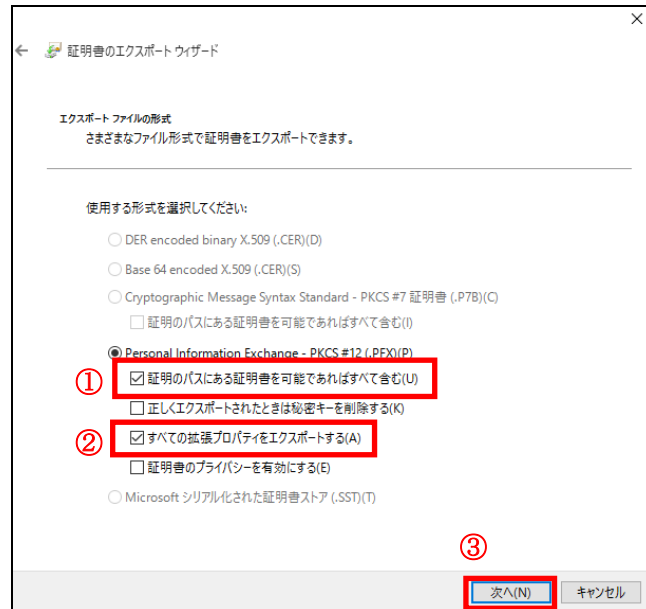
- (5) 秘密キーのエクスポート画面にて、① **はい、秘密キーをエクスポートします(Y)** を選択し、  
② **次へ(N)** ボタンをクリックします。



- (6) エクスポートファイルの形式の選択画面にて、①証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む(U)と②すべての拡張プロパティをエクスポートする(A)を選択し、③次へ(N) ボタンをクリックします。

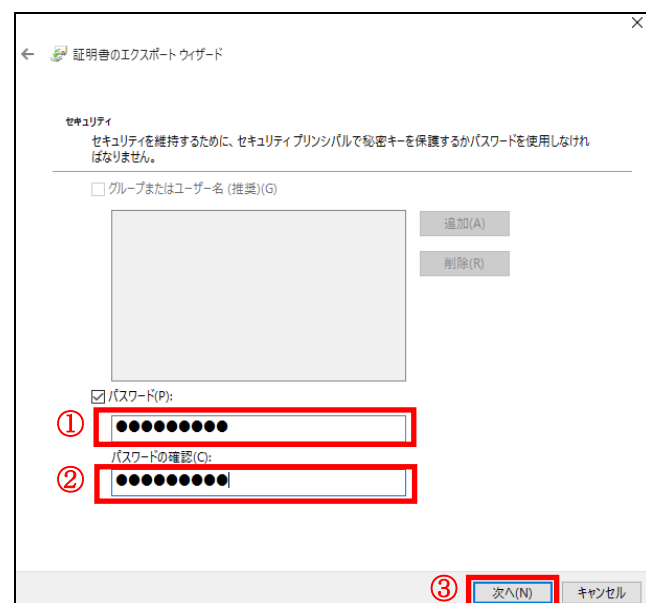
※ご注意 **正しくエクスポートされたときは秘密キーを削除する(K)**は選択しないでください。

ダウンロードした証明書が正しくご利用できなくなります。



- (7) ①パスワード(P)の欄に任意でパスワード決めて入力します。②パスワードの確認入力(C)の欄に同じパスワードを入力します。③次へ(N)ボタンをクリックします。

※ご注意 このパスワードを忘れますと、エクスポートした証明書が使用できなくなります。

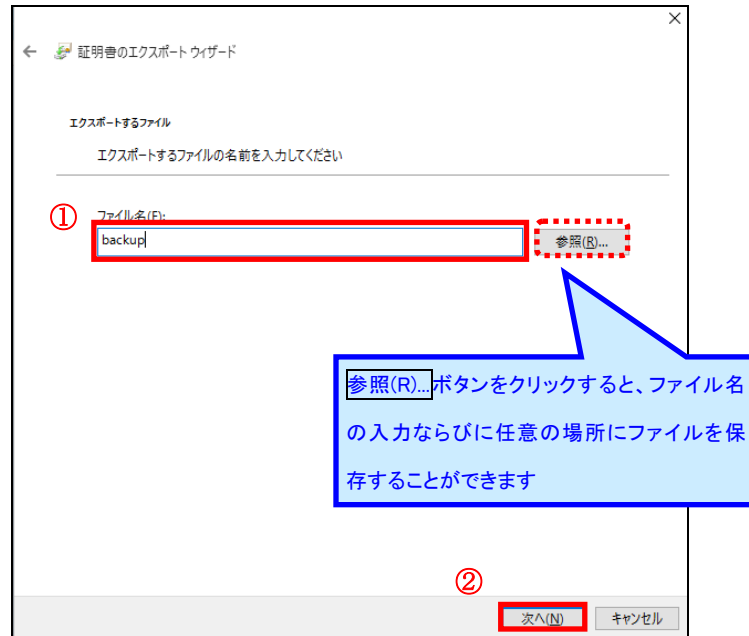


●パスワードは4文字以上で他の人に推測されにくいものを入力されることを推奨します。

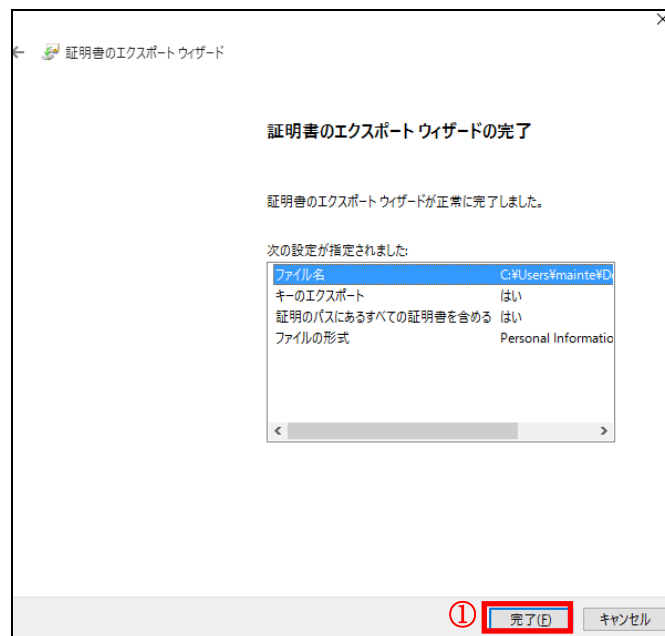
●パスワード入力可能文字: 半角英数字 スペース ! " # \$ % & ' ( ) ~ | { } \_ ? > <



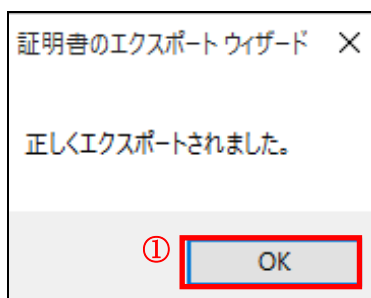
- (8) ① **ファイル名(F)**にエクスポートファイルの名前を任意の**半角英数字**で入力します。入力後、  
② **次へ(N)**ボタンをクリックします。保存場所を指定しない場合は、デスクトップに保存されます。



- (9) 証明書のエクスポートウィザードの完了画面が表示されますので、① **完了(F)**ボタンをクリックします。



(10) 以下のダイアログが表示されますので①OKボタンをクリックします。



以上で、証明書のエクスポート(バックアップ作成)は完了です。

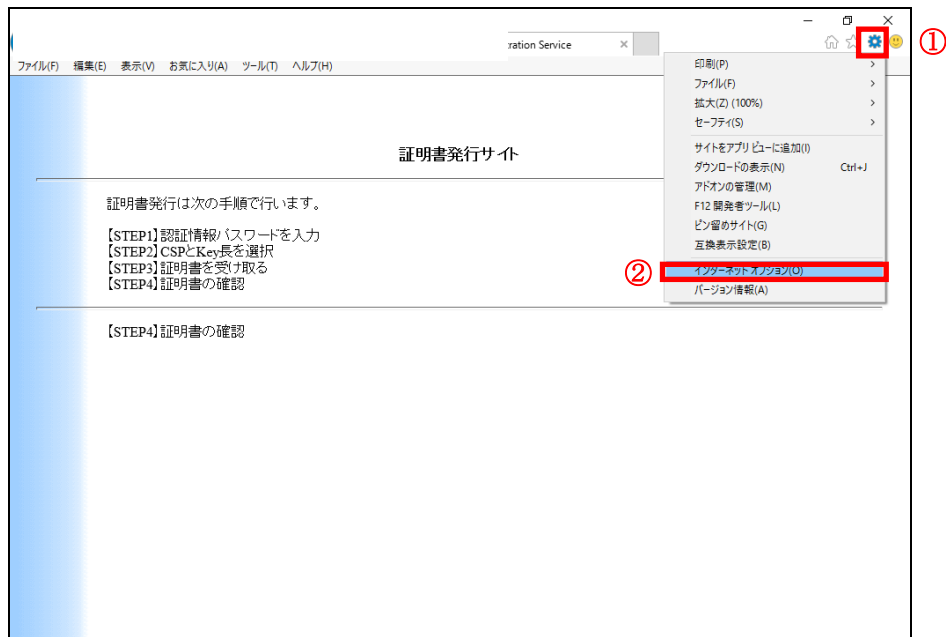
エクスポートした証明書は、安全な場所に保管してください。

次に、バックアップした証明書を再度利用するときのインストール手続きについて説明します。

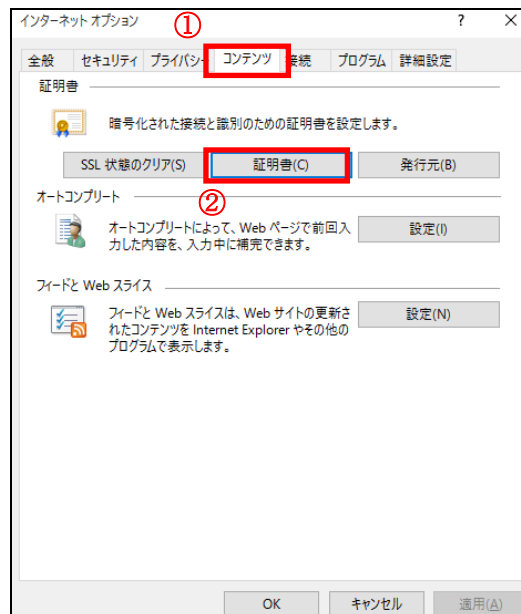
#### 4. バックアップ証明書のインポート(インストール)

他の PC で証明書を使用したい場合や、証明書を削除してしまった場合に、予めエクスポート(バックアップ)しておいた証明書をインポートすることにより、同様の証明書を利用することができます。

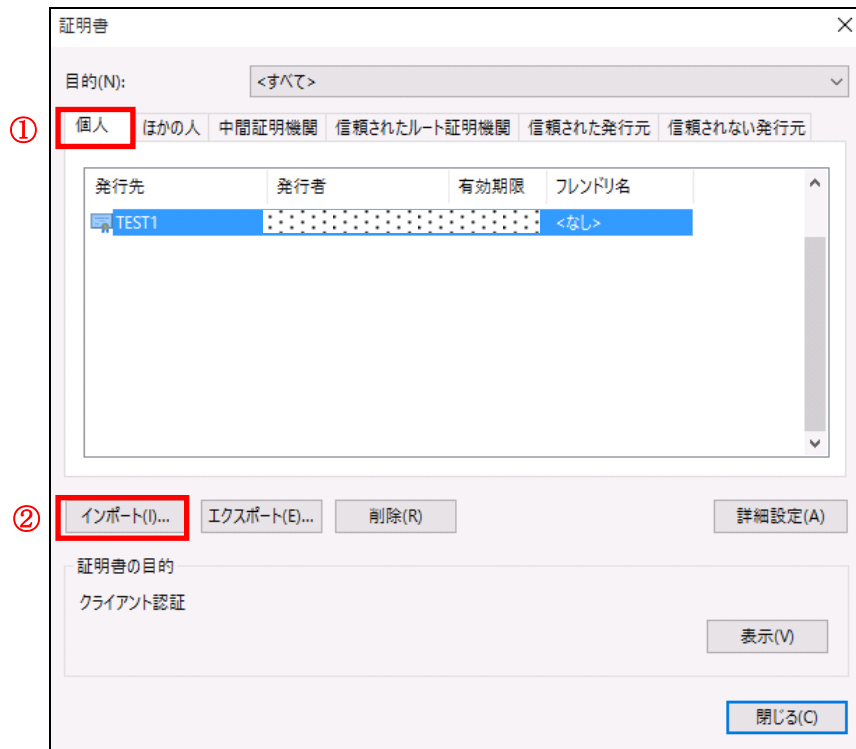
- (1) ① **ツール**メニューより、② **インターネットオプション(O)**を選択します。



- (2) ① **コンテンツ**のタブを選択し、② **証明書(C)**ボタンをクリックします。



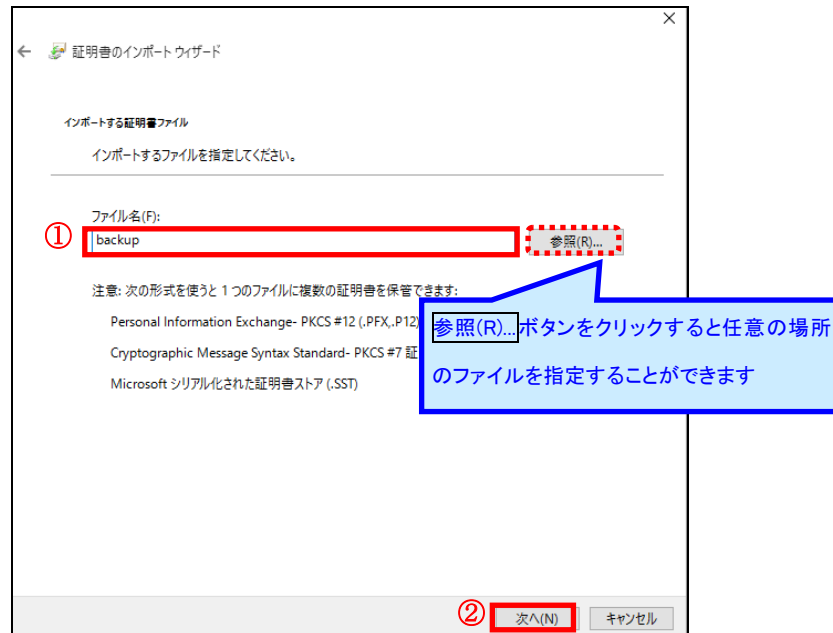
- (3) ① **個人**のタブを選択し、② **インポート(I)...**ボタンをクリックします。



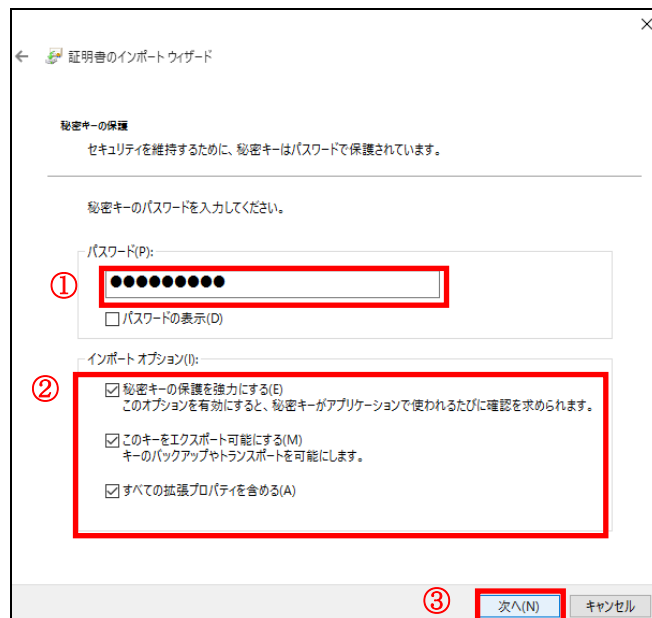
- (4) 証明書のインポートウィザードが開始されますので、① **次へ(N)**ボタンをクリックします。



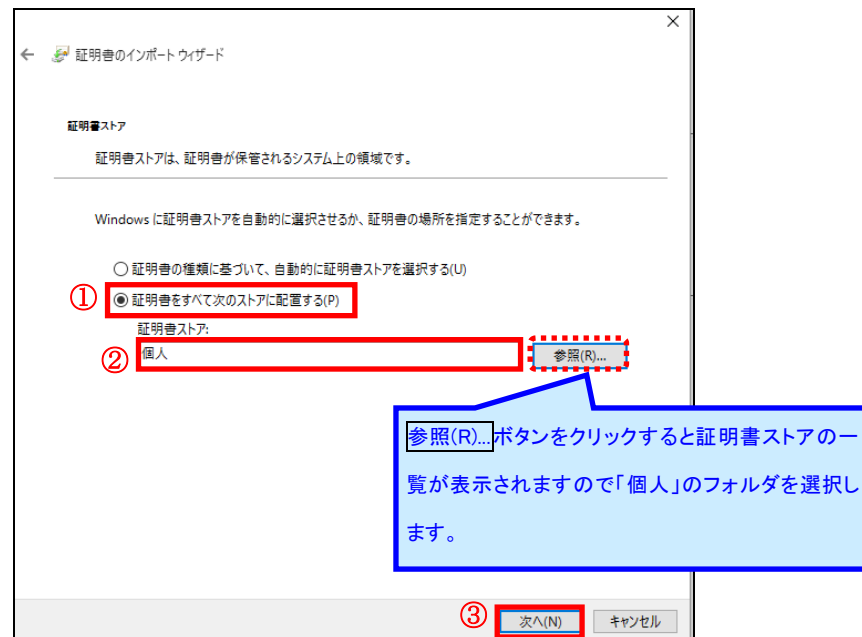
- (5) ① **ファイル名(F):** にバックアップした証明書までの絶対パスを指定して、② **次へ(N)** ボタンをクリックします。



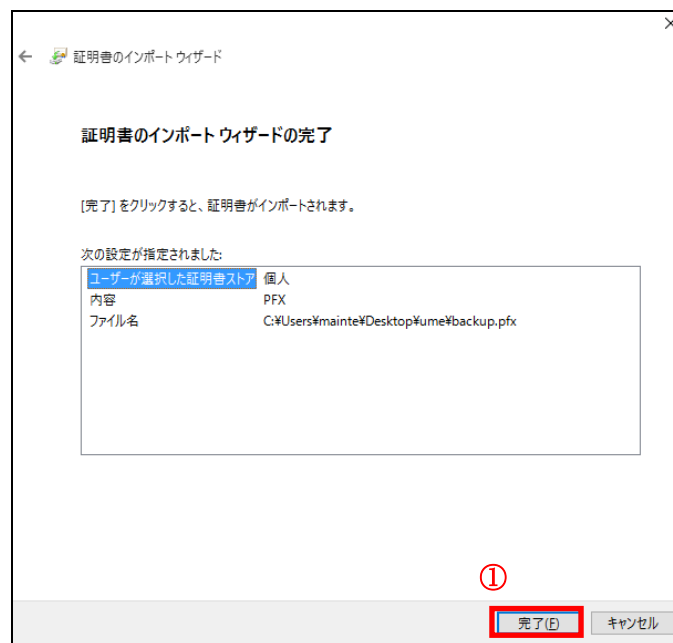
- (6) ① **パスワード(P):** の欄に、エクスポート操作時に設定をしたパスワード(本マニュアル「3. 証明書のエクスポート(バックアップの作成)」の手順(7)参照)を入力します。② **すべての拡張プロパティを含める(A)** をチェックし、他2つは必要に応じてチェックします。③ **次へ(N)** ボタンをクリックします。



- (7) ① **証明書をすべて次のストアに配置する(P)**をチェックし、② **証明書ストア**が「**個人**」になっていることを確認します。その後、③ **次へ(N)**ボタンをクリックします。

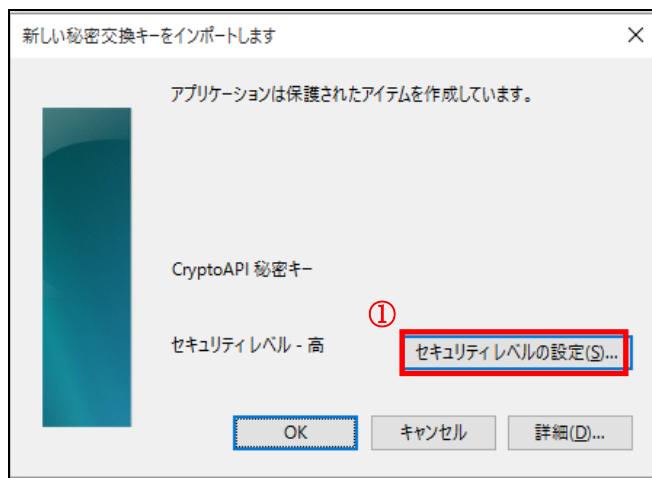


- (8) 以下の画面が表示されますので、① **完了**ボタンをクリックします。

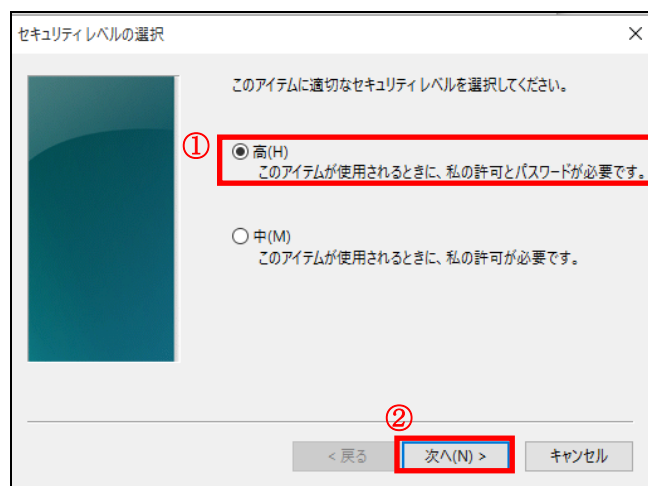


(9) 本項(6)で[秘密キーの保護を強力にする(E)]にチェックを入れた場合、次の画面が表示されます。

① **セキュリティレベルの設定(S)...** ボタンをクリックします。

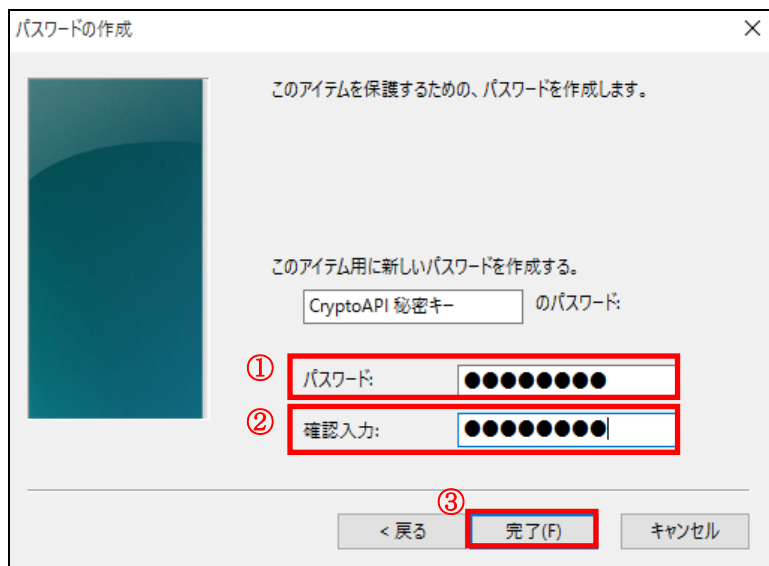


(10) セキュリティレベル①**高(H)**を選択し、②**次へ(N) >** ボタンをクリックします。



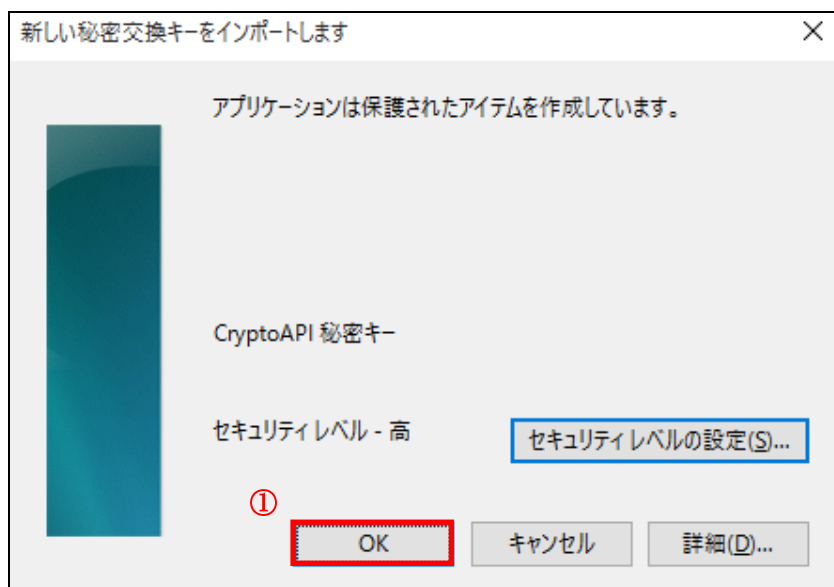
- (11) ① **パスワード:** の欄に任意でパスワード決めて入力します。② **確認入力:** の欄に同じパスワードを入力します。③ **完了(F)** ボタンをクリックします。

※**ご注意** このパスワードを忘れずと、インストールした証明書が使用できなくなります。



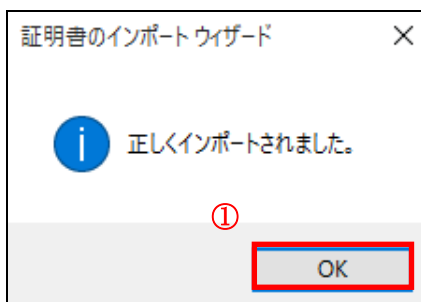
- パスワードは 4 文字以上で他の人に推測されにくいものを入力されることを推奨します。
- パスワード入力可能文字: 半角英数字 スペース ! " # \$ % & ' ( ~ | { } \_ ? > <

- (12) ① **OK** ボタンをクリックします。





(13) ①OKボタンをクリックします。



以上で、バックアップ証明書のインポートは完了しました。

## 付録 A ルート証明書無しでの証明書の発行(ダウンロード)手順

**ルート CA 証明書をインストールできない環境**でご使用される場合の証明書の発行手順を記載します。

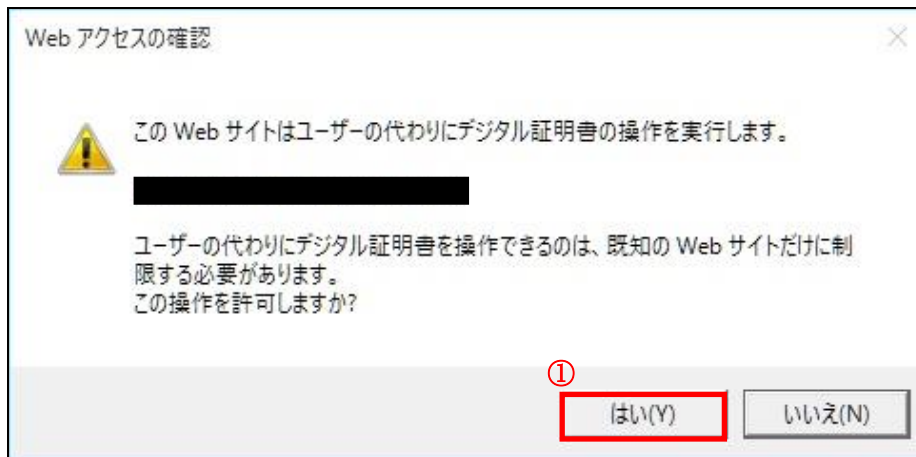
(1) 証明書発行サイト画面【ステップ 3】では、クライアント証明書をインストールするため、

① **クライアント証明書のインストール** ボタンをクリックします。

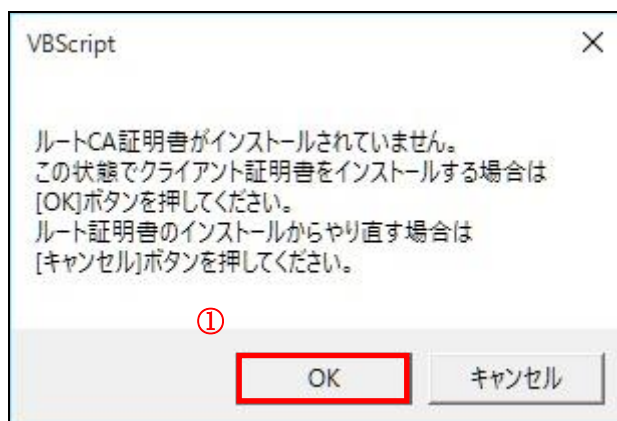
※ **ルート CA 証明書をインストールできる環境**でご使用される場合は、本マニュアル「2. 証明書の発行(ダウンロード)手順」をご確認ください。



- (2) Web アクセスの確認ダイアログが出力されますので、①はい(Y)ボタンをクリックします。



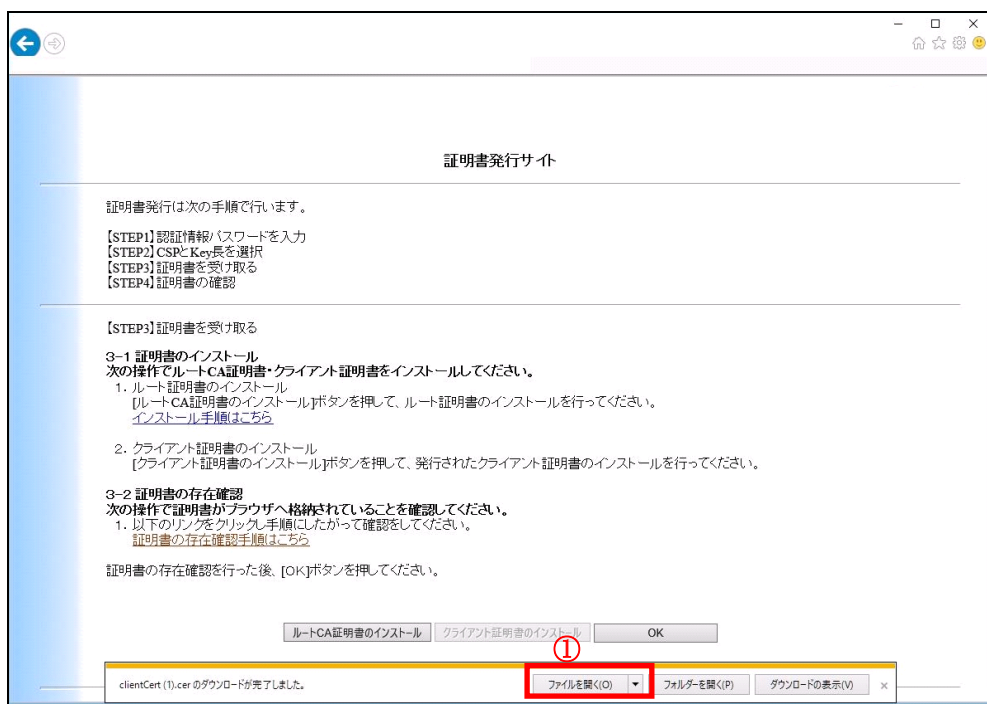
- (3) ルート CA 証明書がインストールされていないことを注意するダイアログが表示されます。  
この状態でインストールを続ける場合は①OKボタンをクリックします。



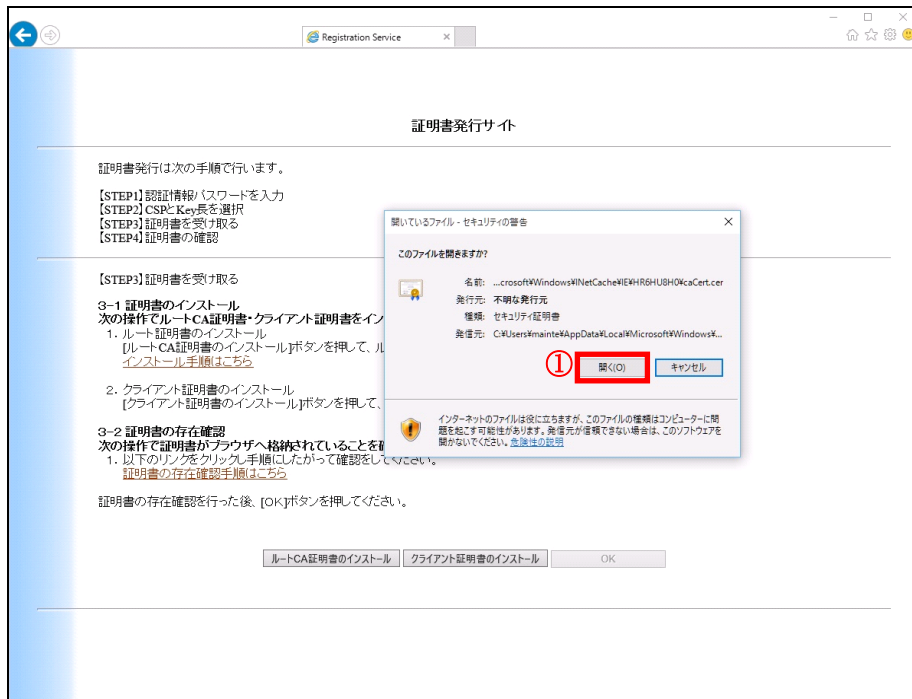
(4) 次のダイアログが出力されたら、①**保存(S)**ボタンをクリックします。



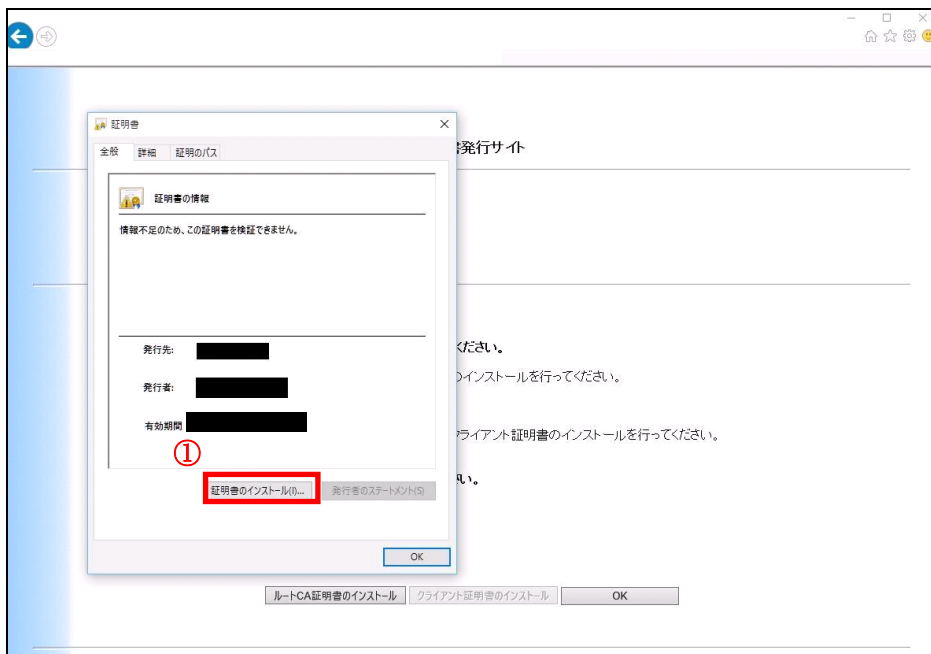
(5) 次のダイアログが出力されたら、①**ファイルを開く(O)**ボタンをクリックします。



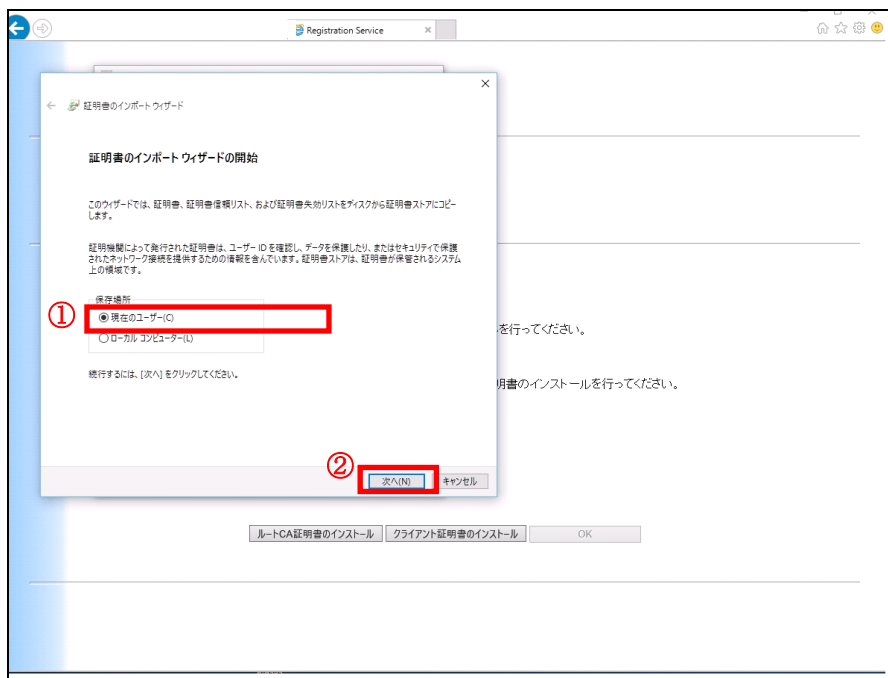
(6) セキュリティの警告ダイアログが表示されますので、①開く(O)ボタンをクリックします。



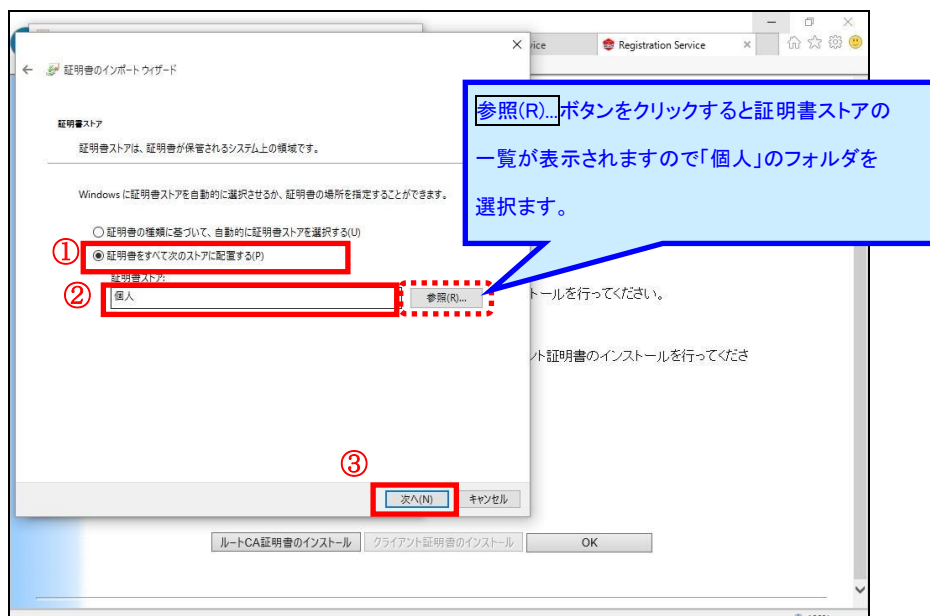
(7) クライアント証明書の情報が表示されますので、①証明書のインストール(I)...ボタンをクリックします。



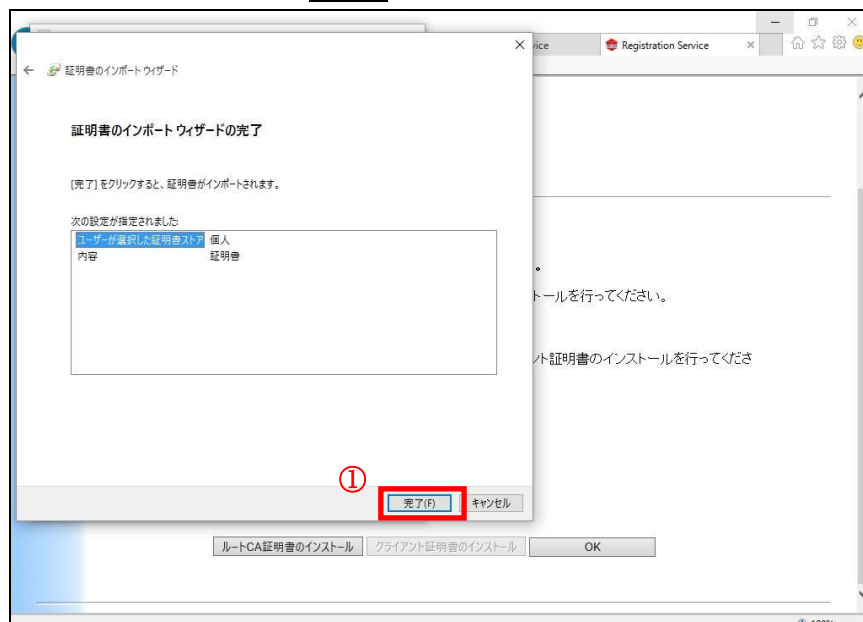
- (8) 証明書のインポートウィザードが開始されるので、① **現在のユーザ(C)**を選択して② **次へ(N)**ボタンをクリックします。



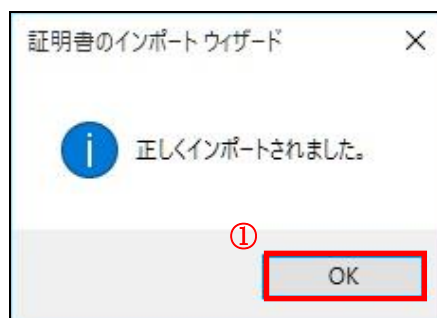
- (9) ① **証明書をすべて次のストアに配置する(P)**をチェックし、② **証明書ストア**が「**個人**」になっていることを確認します。その後、③ **次へ(N)**ボタンをクリックします。



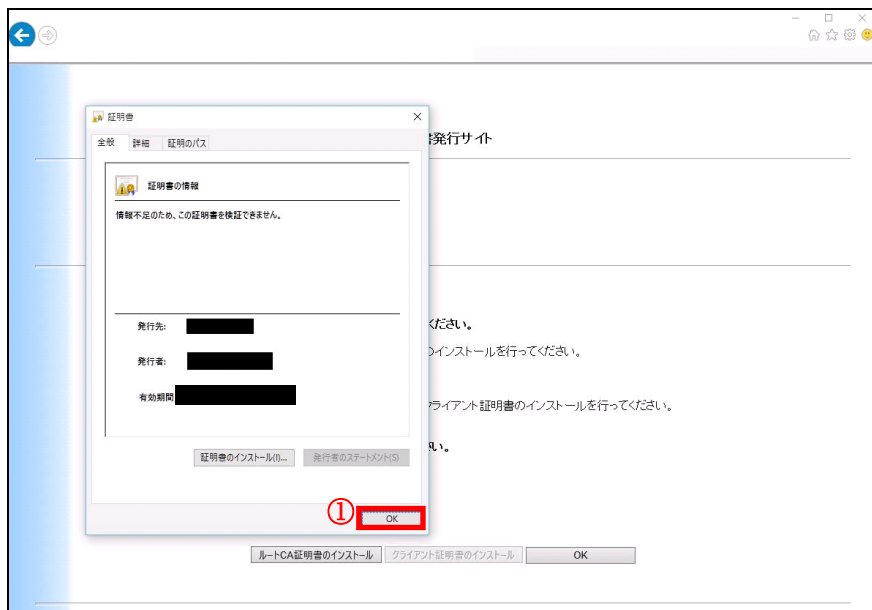
(10) 以下の画面が表示されますので、①完了(F)ボタンをクリックします。



(11) ①OKボタンをクリックします。



(12) ①OKボタンをクリックします。



以上で、ルート CA 証明書をインストールできない環境での証明書のインストール手順は終了です。

インストールした証明書の確認手順は、本マニュアル「2. 証明書の発行(ダウンロード)手順」をご確認ください。



## 付録 B. ブラウザの設定

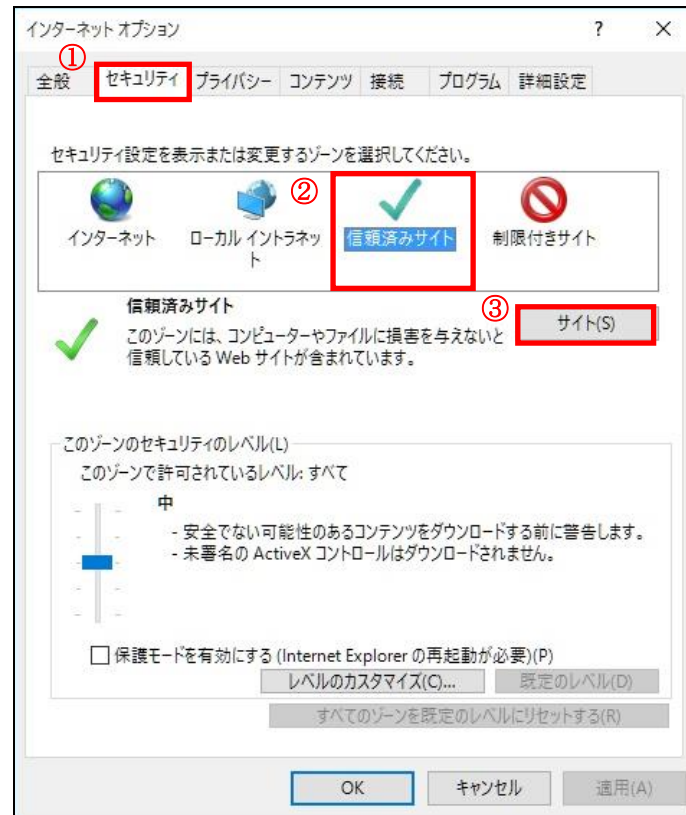
本マニュアル「2. 証明書の発行(ダウンロード)手順」にて証明書の発行が行えない場合は、お客様ごとのセキュリティポリシー等により、個別にブラウザのセキュリティ設定を行われていることが考えられますので、証明書の発行前に次の設定をご確認ください。

(1) IE11 を起動します。

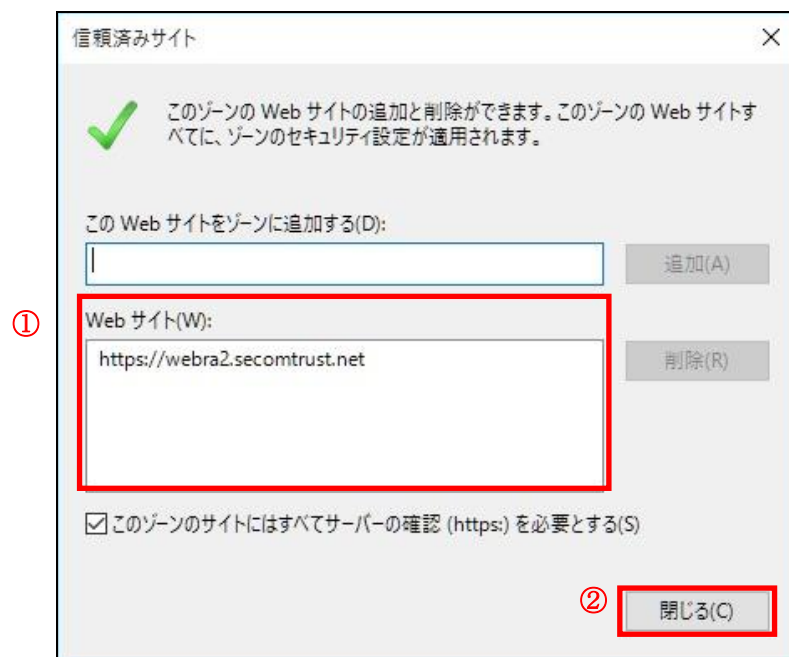
(2) ① ツールメニューより、② インターネットオプション(O) を選択します。



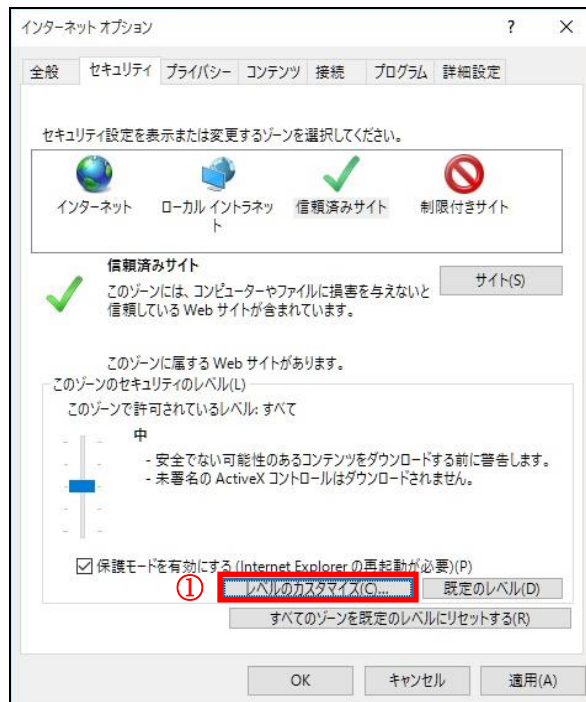
- (3) ①「セキュリティ」のタブを選択し、②「信頼済みサイト」を選択し、③「サイト(S)」ボタンをクリックし、「信頼済みサイト」画面を表示します。



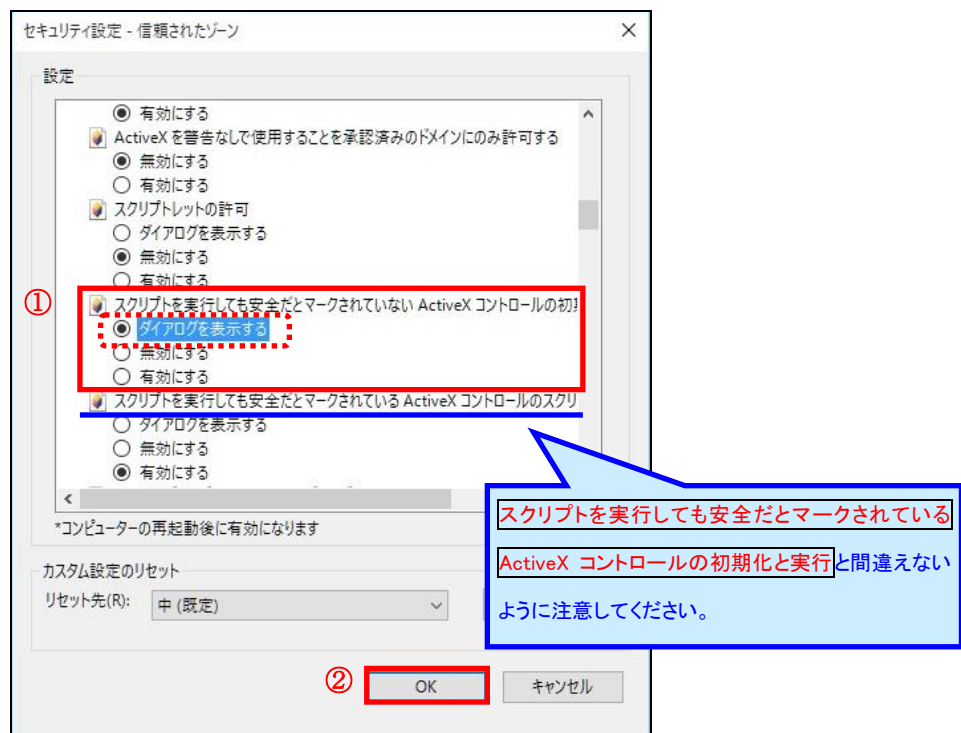
- (4) ①「Web サイト(W)」に「<https://webra2.secomtrust.net>」が表示されることを確認します。確認した後、②「閉じる(C)」ボタンをクリックします。



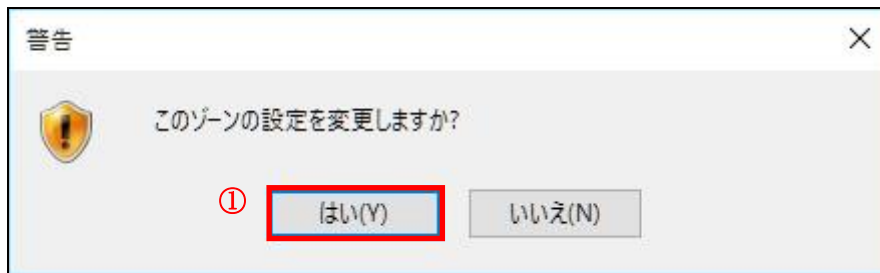
- (5) ① **レベルのカスタマイズ(C)...** ボタンをクリックします。



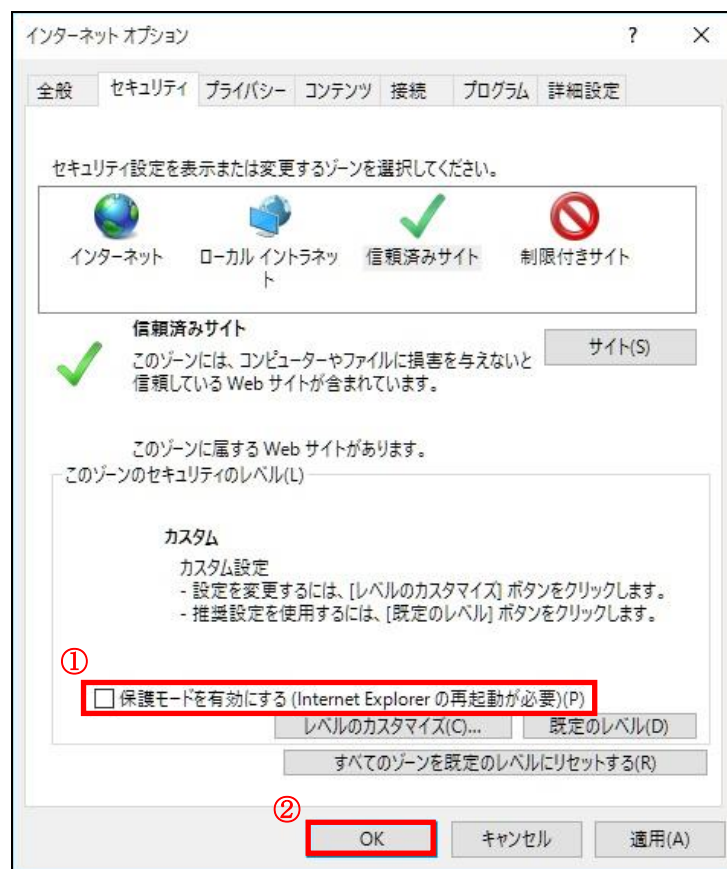
- (6) 「セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン」の設定画面をスクロールし、① **スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行** を表示して、**ダイアログを表示する** のチェックボックスにチェックをした後、② **OK** ボタンをクリックします。



- (7) 以下の警告画面が表示されますので、①はい(Y)ボタンをクリックします。



- (8) ①保護モードを有効にする(Internet Explorer の再起動が必要)(P)のチェックを外し、  
②OKボタンをクリックします。



- (9) IE11 を再起動します。

以上でブラウザの設定は完了となります。